

恵那市、バロー4店とコープぎふ



フードドライブに協力する覚書を締結した秋元武さん(右から2人目)ら＝恵那市役所

未利用食品はポストに

「フードドライブ」を常設

恵那市は、家庭で消費しきれない食品を募って必要な人に届けるフードドライブ活動のため、市内のバロー4店舗とコープぎふ恵那店に「フードドライブポスト」を設置した。
(服部潤)

市社協が回収、必要な人へ

県のモデル事業として市は、昨年10月15日に、大井町のバロー恵那店で、フードドライブ活動を実施。26人から247・6キの食品提供があり2団体に配布した。この実績を踏まえ、事業者と協議して食品廃棄物削減へ常設ポストの設置を決めた。

市は、バローホールディングス(HD)、生活協同組合コープぎふ、同市社会福祉協議会とフードドライブに協力する覚書を締結した。5店舗にポストを常設して、同協議会が回収する。バローHDサステナビリティ推進室長の秋元武さん、コープぎふ常勤理事の児玉幸夫さん、同協議会会長の西部良治さんは「4者で協力していきたい」と口をそろえた。